司法試験 国家公務員採用総合職試験 公認会計士試験

合格者29人を祝福

合格者を代表して感謝の言葉を述べる萬年さん

2018年度の司法試験、国家公務員採用総合職試験、公認会計士試験の合格者祝賀会が12月10日、神田キャンパスで開かれた。日高義博理事長、佐々木重人学長をはじめゼミの指導教員らが集い、難関を突破した合格者を祝福した。

卒業生、修了生を含めた今年度の合格者は司法試験5人、国家公務員採用総合職試験3人、公認会計士試験21人の合わせて29人（18年12月現在）。公認会計士試験では、内藤拓也さん（商2）が本学初となる2年次生での合格を果たした。

佐々木学長は「皆さんの活躍は専大の評判を高める力になる」と述べた。また、2年次生合格の内藤さんの快挙をたたえた。20年度の商学部の神田キャンパス移転を踏まえ、「神田・生田両キャンパスの学生が国家資格に挑戦しやすい仕組みを整備していく」と語った。

日高理事長は「これからの数年が皆さんの一生を左右する大事な時期になる。精進を」と語り、指導教員やサポートした職員に感謝の言葉を贈った。

今年度は国家公務員採用総合職試験の合格者が人間科学部社会学科の学生と大学院文学研究科の院生だった。日高理事長と佐々木学長は「合格実績のある学部が広がり、公務員を目指す学生の励みになる」と神尾凱さん（人間科学4）ら合格者3人に笑顔を向けた。神尾さんは「学内の公務員試験講座で着実に力をつけることができた。暮らしやすい社会をつくるために貢献したい」と喜びをかみしめていた。

国家公務員採用総合職試験合格の3人（右から杣取さん、飯田さん、神尾さん）を日高理事長が激励

教職員や各試験の対策講座を運営するエクステンションセンターの職員らから温かい祝福を受け、合格者の表情も緊張から解かれ、晴れ晴れとした笑顔に。公認会計士試験に合格した萬年英旺さん（商3）が、代表してあいさつした。萬年さんは「会計士講座」での自身の受講態度が当初は未熟だったと振り返り、「厳しい指導のおかげで道を見失わず、勉強に励むことができた」と感謝。「地元の山形、東北の地域活性化を担う公認会計士になりたい」と抱負を述べた。

合格者には専修大学、校友会、育友会、校友会職域支部の法曹会と会計人会からそれぞれ記念品が、校友会からは奨励金が手渡された。また、在学中の現役合格者に「育友会キャリア形成奨励金」が贈られた。

18年度国家公務員採用総合職試験・公認会計士試験合格者

司法試験合格者は本紙2018年10月号（第575号）に掲載。カッコ内は在学・卒業年、学部、所属ゼミ、出身校

◆国家公務員採用総合職試験

【大卒程度試験】▽神尾凱さん（人間科学4、秋吉美都ゼミ、神奈川県平塚学園高）

【院卒者試験】▽飯田稔洋さん（院文修2、指導・高田夏子）▽杣取恵太さん（院文博3、指導・国里愛彦）

◆公認会計士試験

▽内藤拓也さん（商2、松本徹ゼミ、神奈川県横浜市立横浜商高）▽守安悠さん（商3、神奈川県横浜商科大学高）▽宮田凱さん（商3、千葉県八千代高）▽関根輝彦さん（商3、神奈川県弥栄高）▽佐野大凱さん（商3、東京都専修大学附属高）▽萬年英旺さん（商3、山形県山形南高）▽鈴木柊人さん（商3、東京都調布南高）▽上坂徹さん（経済4、山田節夫ゼミ、東京都府中高）▽輕部佑太郎さん（経営4、神奈川県横須賀大津高）▽小山憲志郎さん（商4、伊藤和憲ゼミ、愛知県東邦高）▽山田大誠さん（商4、伊藤和憲ゼミ、東京都東海大学菅生高）▽斉藤夏暉さん（商4、神奈川県川崎北高）▽野方将也さん（平30商、谷守正行ゼミ、神奈川県川崎市立商高＝現川崎幸高）▽黒岩楓也さん（平29商、建部宏明ゼミ、神奈川県厚木商高）▽仲村眞純さん（平29商、伊藤和憲ゼミ、東京都昭和第一学園高）▽宮本美佳さん（平29商、山梨県甲府西高）▽前川結子さん（平28商、国田清志ゼミ、神奈川県横須賀市立横須賀総合高）▽福尾思文さん（平27商、東京都日本大学第二高）▽石川和典さん（平25商、山形県酒田東高）▽江部昇さん（平24商、山形県米沢興譲館高）

公認会計士試験 在学生合格者

萬年英旺さん

鈴木柊人さん

内藤拓也さん

上坂徹さん

守安悠さん

小山憲志郎さん

宮田凱さん

山田大誠さん

関根輝彦さん

斉藤夏暉さん

佐野大凱さん

公認会計士試験合格者に聞く

自分の言葉で用語解説

内藤　拓也さん（商2）

3年次生で合格した先輩から「頑張れば2年次生で合格できた」と聞き、短答式と論文式の一発合格を目指しました。

覚えなければいけないことは膨大で、着実に頭に入れるには専門用語を自分の言葉で理解することだと思い、難解な文章をテキストの余白に自分の表現で書き直し、理解するよう努めました。

勉強は1日に答案練習6問がノルマ。1問3時間を区切りにして、終わると15分の仮眠で頭を整理。月1回は休養日を設けました。

勉強に集中できたのは家族の励ましや先生方の指導、支援、愚痴を言い合えた仲間のおかげ。高校時代にボート部で鍛えた体力や集中力も生きました。

将来の目標はまだはっきりしませんが、在学中は英語のスキルアップなど自己研さんに励み、探求する姿勢を持ち続けたいと思います。

支えてくれた人に感謝

宮田　凱さん（商3）

1年次生の時の会計士講座のガイダンスで刺激を受け、絶対に会計士になりたいと思いました。受験勉強は、常に過去と現在を比較して、足りないものと、できているものはなにかを考えながら取り組むことを心掛けました。

一昨年12月の短答式試験で自己採点をしたところ、「いける」と手応えを感じ、少しブレーキをかけるようにし、それまで休まなかった日曜日は息抜きの日にしました。

千葉県八千代市の自宅と生田キャンパス、専門学校を結ぶ通学は1日5時間で朝は5時半起きでした。支えてくれた母と、毎日車で自宅から駅まで送り迎えをしてくれた祖母に感謝しています。

理解すること心掛ける

萬年　英旺さん（商3）

会計教育支援が充実し、学内で会計士講座を実施しているのが専大の魅力。講座を受講していなければ、3年次生で合格できなかったと思います。試験勉強は長期間にわたり、本番直前の勉強時間は週70時間ほどに。勉強と休憩の切り替えを意識していました。

心掛けていたのは暗記ではなく、理解すること。きちんと身につけた理論は別の問題を解く時に生かすことができるので、すべての理論を覚える必要はないと思います。

会計の基礎となる日商簿記3級をおろそかにしないこと、財務会計など実務でもよく使われる分野をしっかりと学ぶこと。この二つが合格に向けて重要だと感じました。

計修会も合格祝賀会

計修会（専修大学公認会計士試験研究室）主催の公認会計士試験合格祝賀会が12月15日、神田キャンパス近くの会場で約40人が参加して開かれた＝写真。

本年度は計修会から、野方将也さん（平30商）、関根輝彦さん（商3）、内藤拓也さん（商2）の計3人が合格した。

当日は、計修会前室長の佐々木重人学長やご指導をいただいたエクステンションセンター主催の「会計士講座」の先生方6人も駆けつけ、お祝いの言葉を贈った。

祝賀会の最後に合格者の関根さんが「計修会の仲間たちがいたおかげで根気強く勉強を続けられた。仲間と勉強する楽しさをもってほしい」と話した。

2年次生合格者の内藤さんも「計修会の存在が合格への支えになった」と感謝の言葉を語り、出席した室員のモチベーションも大いに上がったようであった。

（商学部准教授、計修会室長・松本徹）